

【小学校 国語】

全国学力・学習状況調査 今治市の各教科調査結果の特徴

1 平均正答率等について

本市の小学校国語の平均正答率は65%で、全国の平均正答率と比べ▼1.8%下回りましたが、県の平均正答率とほぼ同じでした。「話すこと・聞くこと」の領域の、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉える問題の平均正答率は74.6%で、全国の平均正答率と比べ△2.8%、県の平均正答率と比べ△2.7%上回りました。また、「知識及び技能」における「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率が72.9%（全国76.9%、県75.2%）、「思考力、判断力、表現力等」における「書くこと」の平均正答率が66.6%（全国69.5%、県66.7%）と低くなっています。

2 特徴が見られた問題

2-四 （漢字を文の中で正しく使うことができるかをみる問題）

問題：次の —— 部ア、イを漢字でていねいに書きましょう。

相手の アこのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

イあつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。

正答：ア 好み                      ウ 暑い

本市の平均正答率は、アの問題が（76.1%）、全国の平均正答率（81.6%）県の平均正答率（80.2%）で、イの問題が（69.8%）、全国の平均正答率（72.1%）県の平均正答率（70.3%）となり、全国・県を下回りました。この結果から、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題があると考えられます。

2-一 （段落をつくり、段落相互の関係に注意して文の構成を考えることができるかをみる問題）

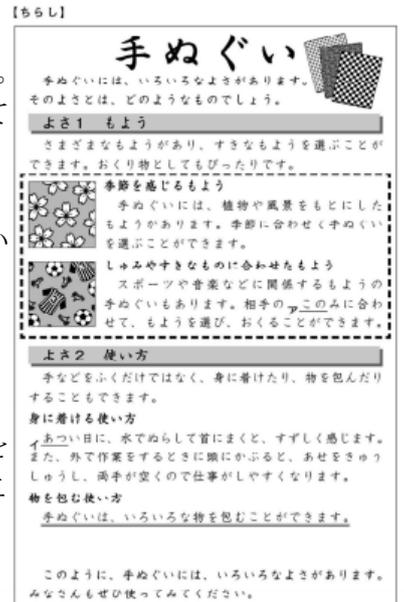
問題：山田さんは文章の構成をくふうして【ちらし】を書いています。山田さんが文章の構成をどのようにくふうしているかを説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 読んでほしい順序を明確にして、時間の流れに沿って書いている。
- 2 伝えたいことの内容を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いている。
- 3 文章の筋道が整うように、原因と結果とを明らかにして書いている。
- 4 読み手の目的に応じて読めるように、使い方の手順に沿って書いている。

正答： 2

本市の平均正答率は（60.7%）、全国の平均正答率（65.5%）県の平均正答率（61.4%）で、全国を大きく下回りました。

この結果から、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることに課題があると考えられます。



3 これからの学習に当たって

今後、漢字を「読む・書く」だけでなく、同音異義語の使い方や熟語の意味を文脈で考えさせるなど、漢字を指導する際に「使う、選ぶ、比べる」活動を取り入れることが考えられます。

また、段落ごとの役割や、中心となる情報を見付けたり、選択肢の違いを的確に読み比べたりするために、読書活動を推奨し、目的を明確に持たせたいうえで書く内容の中心を決める指導が必要です。